

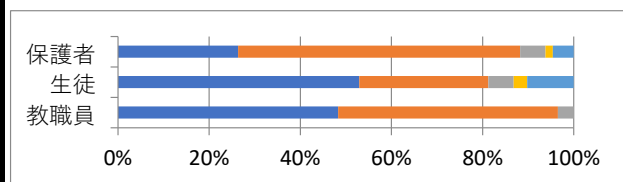
令和5年度 学校評価

■ そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思う
 ■ どちらかといえば、そう思わない
 ■ そう思わない
 ■ わからない

①いのちを大切にす心の教育の充実といじめや不登校への細やかな対応

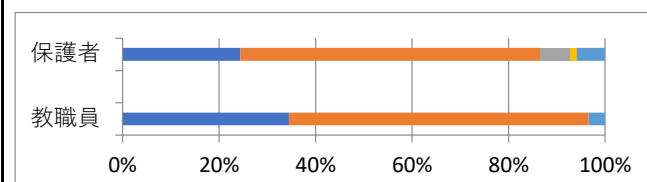
1 一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にす指導や対応ができていますか。



2 道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重、思いやりなど）

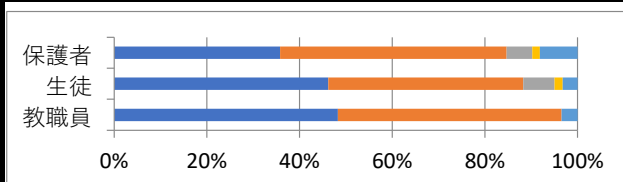


○一人一人の児童生徒の尊重の項目で、肯定的な意見に着目すると、児童が最も低く82%程であった。これは低い数値とまでは言えないが、学級で問題が起こった時に、結果的に納得がいかないまま終結する場合があったり、教師が気付いていない学級内の問題があるかもしれないこと、また適切でない指導があったかもしれないことなども考えられる。しかし、年度比較をすると、一人一人の児童の尊重の項目も、道徳・心の教育の充実の項目も、教職員の評価は、令和4年度よりも8%程向上しており、教職員が総じて昨年より一生懸命に対応していることがうかがえる。

②確かな学力の向上と社会の変化に対応した教育の推進

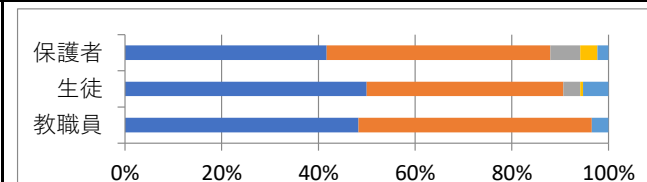
3 授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



4 タブレット端末活用

子どもは、タブレット端末を活用して学習していると思いますか。

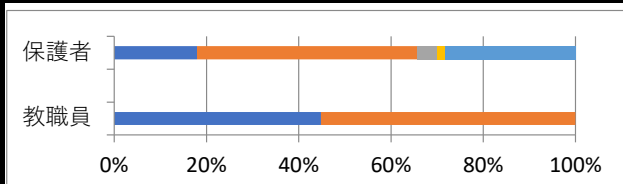


○評価結果を絶対評価でみると上記のとおりであるが、年度比較をすると授業力向上に関しては、保護者は前年度と同じだが、児童は+2%、教職員は+4%向上し、タブレット端末の活用に関しては、保護者は+3%、児童は+4%、教職員は前年度と同じという結果であり、おおむね向上が見られた。

③教員が子どもと向き合うための体制の整備

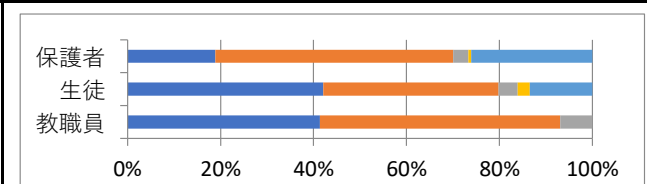
5 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。



6 共生社会を担う人材の育成

学校が行っている「交流及び共同学習」等は、相互理解につながっていると思いますか。



○学校の支援体制に関する肯定的な意見は、前年比、保護者は-2%であるが、教職員は特にそう思うの回答が10%も向上している。共生社会を担う人材の育成に関する肯定的な意見は、前年比、保護者+5%、児童変化なしであるが、教職員の特にそう思うの回答が15%も向上していた。しかし、学校の支援体制と共生社会を担う人材の育成の両項目に限り、「わからない」の回答が保護者で25%以上もあり、保護者にとっては回答が難しい項目になった。

④ 学習に集中できる教育環境づくりと安全対策の推進

7 安全と事故防止	8 家庭や地域との連携協力																					
学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。	学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。																					
<table border="1"> <caption>Item 7 Evaluation Data</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>肯定的評価 (%)</th> <th>否定的評価 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>82</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>生徒</td> <td>70</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>45</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	肯定的評価 (%)	否定的評価 (%)	保護者	82	18	生徒	70	30	教職員	45	55	<table border="1"> <caption>Item 8 Evaluation Data</caption> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>肯定的評価 (%)</th> <th>否定的評価 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保護者</td> <td>82</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>95</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	対象者	肯定的評価 (%)	否定的評価 (%)	保護者	82	18	教職員	95	5
対象者	肯定的評価 (%)	否定的評価 (%)																				
保護者	82	18																				
生徒	70	30																				
教職員	45	55																				
対象者	肯定的評価 (%)	否定的評価 (%)																				
保護者	82	18																				
教職員	95	5																				
<p>○安全と事故防止に関する項目に関しては、保護者、教職員の肯定的な評価は、前年と変わらないが、児童の評価が20%も向上しているのが注目すべき点である。家庭や地域との連携の項目では、前年比、保護者は変化がないが、教職員は5%程向上した。</p>																						

来年度の具体的な取組について

<p>○回答内容は昨年とあまり変化は見られなかったものの、項目5について保護者は、昨年度を5%ほど減少しているが、教職員は10%上昇している。児童一人一人を大切にしている教育の実態啓発が必要であり、学校全体で工夫していかなければならない。</p> <p>○全体的に保護者の「わからない」の回答が多く、学校教育への関心が高まるために、行事やイベントだけではない「開かれた学校」への工夫・改善が必要である。</p> <p>○項目7の安全教育に対する児童の評価が20%近く上昇しており、安全教育の推進、並びに危険個所の改善が児童に伝わっているものと感じられる。これからも続けていきたい。</p>
--

学校関係者評価

<p>○正門前にての顔の見える挨拶運動、大いに絶賛感服いたします。大変ですが、継続くださいませ（子どもたちの励みになると思います）。</p> <p>○不登校児童についての取組を知りたい。</p> <p>○見守り時、返答がない子供さんが時々おられます。何かあったのかと、心配するときもあります。が、大変礼儀正しくする子どもさんもおられて、大変うれしく思います。</p> <p>○給食室設備の老朽化がみられることや、夏は暑くて環境が劣悪な学校も多いと聞きます。山ノ内小給食室も野菜の脱水機のいいものがあれば作業が楽になるという具体的なお話もお聞きました。給食室に限った話ではありませんが、設備改善できる部分で働き方改革につながる部分があると思いますので、予算配布を期待します。</p>
--